

# 自動車新時代に対応したイノベーション創出プロジェクト 〔自動車産業の急速な構造変化等に向けた対応〕

【取組目標】産学公金連携組織への参画企業数  
100社(2020年度)

## プロジェクトの概要

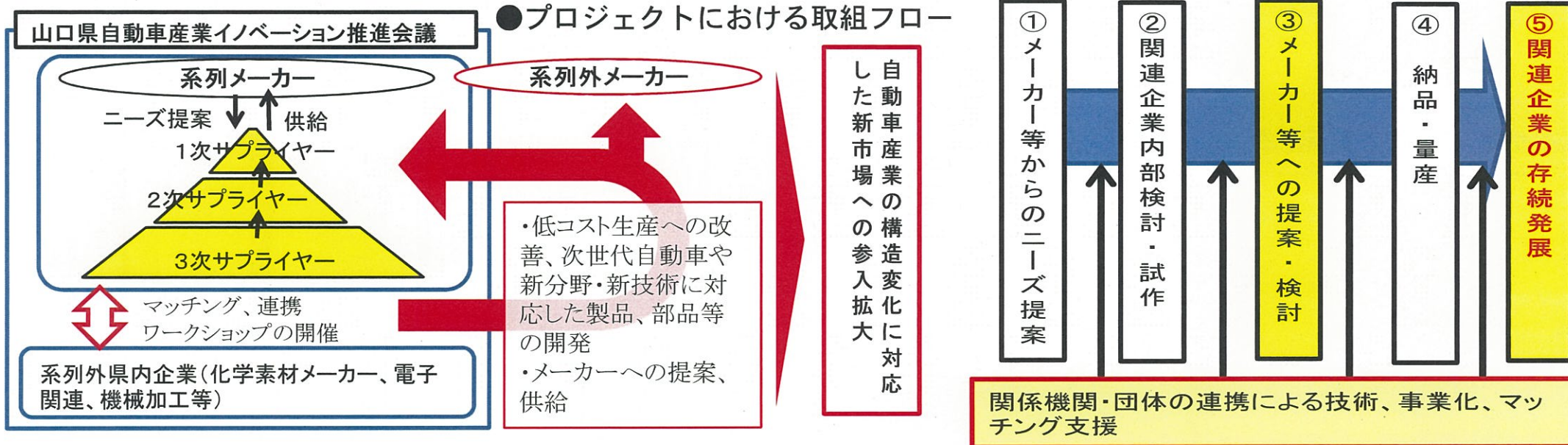
### ●自動車産業の構造変化に向けた研究会や産学公金連携組織の設置

- 自動車産業の構造変化や将来見通しについて、自動車関連をはじめ素材系、電子部品、技術加工等幅広い企業の連携や情報・技術交流のためのプラットフォームを形成
- 「次世代のクルマづくり」に係る中長期的技術（軽量化・高性能技術、製造方法の効率化、コストダウン方法等）についての展開方向を探求

### ●自動車関連企業のイノベーション創出支援

- ワークショップ等による企業間連携の仕組みづくり（技術交流会、ワークショップ、マッチング等）
- 企業の競争力・開発力強化に向けた研究開発・事業化への支援

●メーカーと県内企業間連携のイメージ





## 進捗状況等について

### 【プロジェクトにおける主な取組】

- 企業間連携、情報・技術交流に向けた研究会の開催、産学公金連携組織の設置・運営
- ワークショップ等企業間連携の仕組み作り、研究開発・事業化への支援

<p>進捗状況</p>	<p>【企業間連携、情報・技術交流の促進に向けた取組】</p> <p>&lt;平成30年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研究会等の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回研究会実行委員会(委員会の設置と事業計画について)(6/11)</li> <li>・第1回研究会スタートアップセミナー、約160人参加(今後の自動車産業について)(7/30)</li> <li>・第2回研究会、約70人参加、(次世代パワーソースと部品の行方)(10/18)</li> <li>・第3回研究会、約80人参加(次世代安全・情報関連技術、軽量化)(11/15)</li> <li>・第4回研究会、約50人参加(製造・生産技術、コストダウン対策)(12/ 4)</li> <li>・第2回研究会実行委員会(研究会開催結果、研究会の発展改組、スケジュールについて)(1/ 7)</li> </ul> </li> <li>○産学公金連携組織の設置             <ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県自動車産業イノベーション推進会議の設立(発起人会・幹事会(2/15))</li> <li>・参画企業の募集開始(2/21)</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;令和元年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「山口県自動車産業イノベーション推進会議」スタートアップセミナー開催&lt;64社・約120名参加&gt;(6/11)</li> <li>・やまぐちR&amp;Dラボのプレワークショップに、自動車会議会員企業が多数参加(7/10)</li> </ul>
<p>指標(実績値)</p>	<p>産学公金連携組織への参画企業数 60社(令和元年6月末)</p>
<p>今後の動向等</p>	<p>&lt;令和元年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制を基盤にしたオープンイノベーションによる開発支援(技術提案会、商談会、企業間マッチング、新技術・製品・部品等の試作や開発の推進(ワークショップの設置・開催等)</li> <li>○自動車補助金制度の創設・募集</li> </ul>
<p>令和元年度 関連予算(事業) (産業戦略部)</p>	<p>○自動車新時代イノベーション創出支援事業(20,000千円)【県事業・新規事業】 産学公金連携によるプラットフォームの(推進体制)の構築、新技術・製品等の研究開発、事業化の取組に対する助成 等</p>



大規模産業用地活用促進プロジェクト  
〔大規模工場跡地を活用した企業立地の促進〕

No 3

プロジェクトの概要

【取組目標】企業誘致件数  
25件(2017年)⇒75件/3年(2018-2020年)

●大規模工場跡地の利活用に係る地元市町や企業等との連携・推進体制の構築

- ・ 県庁内サポートチームの設置による、地元市町や企業等のニーズを踏まえた一元的な支援策の検討・調整の実施
- ・ 県、市町、関係企業等によるプロジェクトチームの設置による、大規模工場跡地の具体的・効果的な活用に向けた、関係機関等の連携体制強化と既存の産業インフラを活かした大規模工場跡地の活用方策等の検討

●産業集積エリアの活性化に向けた効果的な企業立地の促進

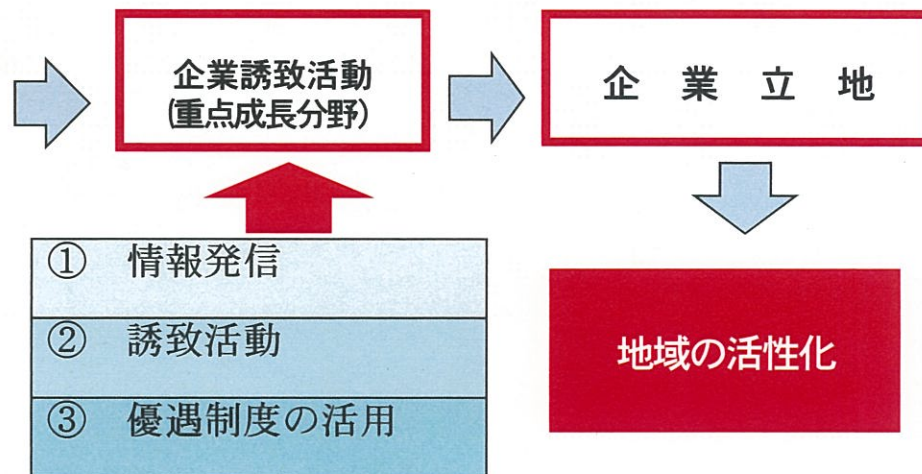
- ・ 東アジアへの近接性や豊富な産業人材など、本県の立地環境の優位性や経済波及効果、市町のニーズを踏まえた戦略的な企業誘致活動の展開
- ・ 県独自の支援制度や地域未来投資促進法等に基づく優遇制度の活用・提案等による新規立地の促進

●プロジェクトチームによる取組

プロジェクトチーム設置			
跡地所有企業	地元関連企業等	市町	県

検討・取組内容

- ① 跡地所有企業等のニーズの確認
- ② 跡地活用事例の研究、対応策の検討
- ③ 活用方策・企業誘致方針等の確認
- ④ 企業誘致強化策等の検討 等





## 進捗状況等について

### 【プロジェクトにおける主な取組】

- 地元市町や企業等との連携・推進体制の構築
- 産業集積エリアの活性化に向けた効果的な企業立地の促進 等

進捗状況	<p>【連携・推進体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県庁内サポートチームの設置及び会議開催（平成30年10月）</li> <li>○ 大規模産業用地活用促進プロジェクトチームの設置及び会議開催（平成31年1月）</li> </ul> <p>【効果的な企業立地の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やまぐち企業立地フォーラムin大阪を開催〈約200人〉（平成30年10月）</li> <li>・ 適地紹介パンフレットを作成（令和元年7月）</li> </ul> </li> <li>○ 誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重点成長分野の企業への集中的な訪問の実施</li> </ul> </li> </ul>
指標(実績値)	企業誘致件数:42件(平成30年1月～令和元年7月末)
今後の動向等	<p>【連携・推進体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 跡地の活用に関する課題等の調査・情報収集及び研究</li> <li>○ 跡地の活用に係る支援策の検討・実施、跡地活用の課題等を踏まえた活用方策の検討 等</li> </ul> <p>【効果的な企業立地の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報発信（大都市圏での企業立地フォーラムの開催(令和元年11月又は12月予定:東京)、展示会への出展、適地紹介パンフレットの作成、専門誌への広告掲載、県企業誘致専門WEBサイトの更新他)</li> <li>○ 誘致活動（重点成長分野の企業への集中的な訪問の実施）</li> </ul>
令和元年度 関連予算(事業)	<p>※商工労働部所管事業  (主な事業については、巻末「重点成長分野に関連する主な施策・事業展開」に掲載)</p>



地域中核企業創出・成長支援プロジェクト  
〔地域中核企業への総合的支援体制の構築〕

プロジェクトの概要

【取組目標】

地域経済牽引事業計画承認(累計):45件(2020年度)

地域経済牽引事業による付加価値増加額:115億円/3年(2018-2020年度)

● 「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム」の設置による地域中核企業の創出・成長のための総合的、集中的な支援の推進

- ・ 地域金融機関や産業支援機関等の連携による官民一体となった「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム」の設置
- ・ 地域未来投資促進法や、産業支援機関、金融機関等の多様な公的・民間支援メニューを活用し、技術力強化や販路・域内調達の拡大、事業戦略の強化等、企業ニーズに応じた総合的・集中的支援を実施。  
(総合サポートプラン提案等)

● 地域中核企業経営者等の意識啓発、機運醸成等の促進

- ・ 意識啓発セミナー、産学公マッチング、情報交換会等の開催

●カンファレンスチームの取組スキーム

地域中核企業支援の取組

地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム

産技センター	産業振興財団	山口県 (各関係部局)	金融機関	大学
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術的助言</li> <li>● 開発支援等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 販路開拓</li> <li>● 事業展開支援等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域未来投資促進法</li> <li>● 各種補助・融資</li> <li>● 規制緩和等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業性評価</li> <li>● コンサルティング等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調査、研究</li> <li>● 技術開発等</li> </ul>

官民一体となった  
総合的サポートプラン策定・実行

多様な公的・民間支援  
メニューの活用による  
総合的・集中的な支援



## 進捗状況等について

### 【プロジェクトにおける主な取組】

- 地域中核企業創出・支援カンファレンスチームによる、総合的・集中的な企業支援(技術的助言、地域未来投資促進法、コンサルティング等)
- 地域中核企業経営者等の意識啓発、マッチング等

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域中核企業サポーターの委嘱、地域中核企業創出・支援カンファレンスチームの設置(H30.4.26)</li> <li>○連絡会議開催(第1回:平成30年4月26日、第2回:平成31年3月20日)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域中核企業への支援方法等の協議・検討、地域中核企業創出・支援サポートプランの作成 等</li> </ul> </li> <li>○カンファレンスチームによる企業訪問・ヒアリング(平成30年8月～令和元年7月)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・約70社訪問</li> </ul> </li> <li>○経営者意識啓発セミナーの開催(H30.11.5)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンイノベーション、産業人材の確保・育成等をテーマに山口市内で開催(40社、約60名が参加)</li> </ul> </li> <li>○地域中核企業サポーター連絡会議の開催(平成30年11月～令和元年5月、計5回開催)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域金融機関担当者との企業の課題整理、支援方向性等を協議・検討 等</li> </ul> </li> </ul>
指標(実績値)	<p>地域経済牽引事業計画承認件数 : 41件(令和元年8月)</p> <p>地域経済牽引事業による付加価値増加額 : 67億円(平成30年度)</p>
今後の動向等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域中核企業創出・支援カンファレンスチームによる県内企業への総合サポートの検討・実施</li> <li>○カンファレンスチームによる企業訪問ヒアリング(ニーズ等の把握)・相談対応等の継続</li> </ul>
令和元年度 関連予算(事業) (産業戦略部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域中堅・中核企業支援事業(5,000千円)【県事業・継続事業】 地域中核企業創出・支援カンファレンスチームの運用、企業支援に係る調査研究等</li> </ul>



プロジェクトの概要

【取組目標】企業誘致件数(重点成長分野)  
20件/3年(2018-2020年)

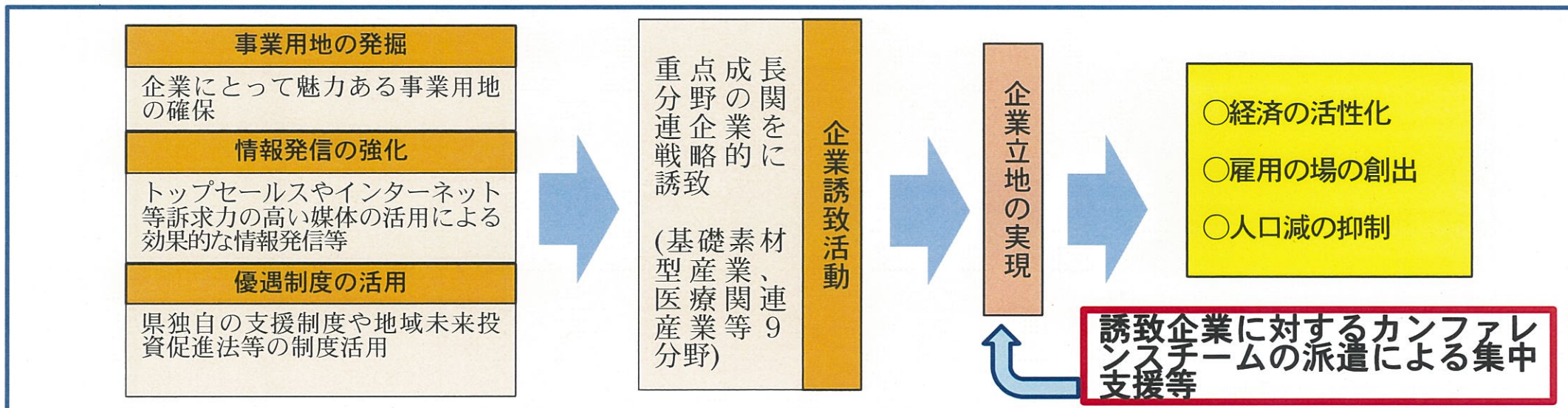
●地域中核企業を含む重点成長分野の重点的な企業誘致活動の展開

- 重点成長分野の企業を対象とした、東アジアへの近接性や豊富な産業人材など、本県の立地環境の優位性・経済波及効果を踏まえた戦略的な企業誘致活動の展開
- 県独自の支援制度や地域未来投資促進法等に基づく優遇制度の活用・提案等による企業の新規立地の促進
- 県内の未利用地・遊休地の情報収集や、企業誘致の受け皿となる新たな事業用地の確保

●地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム等による誘致企業への総合サポート

- 「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム」等による誘致企業の技術力強化や販路・域内調達の拡大、事業戦略の強化等、企業ニーズに応じた総合的・集中的支援を実施。

●取組スキーム





## 進捗状況等について

### 【プロジェクトにおける主な取組】

- 県内の未利用地・遊休地の情報収集や新たな事業用地の発掘・紹介
- 本県の立地環境の優位性等についての情報発信
- 重点成長分野の企業に対する誘致活動 等

<p>進捗状況</p>	<p><b>【事業用地の発掘・紹介】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業未利用地・空き工場等の物件調査を実施(平成30年9月～)</li> <li>・県ホームページにて企業未用地・空き工場等情報を公開(平成31年1月～)</li> </ul> <p><b>【情報発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまぐち企業立地フォーラムin大阪を開催〈約200人〉(平成30年10月)</li> <li>・適地紹介パンフレットを作成(令和元年7月)</li> </ul> <p><b>【誘致活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点成長分野の企業への集中的な訪問の実施</li> </ul>
<p>指標(実績値)</p>	<p>企業誘致件数(重点成長分野)：22件(平成30年1月～令和元年7月末)</p>
<p>今後の動向等</p>	<p><b>【事業用地の発掘・紹介】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業未利用地・空き工場等の情報収集・発掘の強化、県ホームページにて情報公開</li> </ul> <p><b>【情報発信】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大都市圏での企業立地フォーラムの開催(令和元年11月又は12月予定:東京)、展示会への出展、適地紹介パンフレットの作成、専門誌への広告掲載、県企業誘致専門WEBサイトの更新他</li> </ul> <p><b>【誘致活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点成長分野の企業への集中的な訪問の実施</li> </ul>
<p>令和元年度 関連予算(事業)</p>	<p>※商工労働部所管事業 (主な事業については、巻末「重点成長分野に関連する主な施策・事業展開」に掲載)</p>



高度産業人材確保・活用支援プロジェクト  
〔高度産業人材の確保・育成〕

プロジェクトの概要

【取組目標】

研究開発・人材活用システムへの参加企業数:50社(2020年度)

奨学金補助制度を活用した県内就業者数(累計):

4人(2017年度)⇒20人(2020年度)

●重点成長分野のイノベーション展開に向けた研究開発力の強化や人材の確保・育成

- ・ 県内研究者の技術交流プラットフォーム（「R&Dラボ」）の設置等による高度産業人材の育成や技術力、研究開発基盤の強化
- ・ 高度技術者等の技能・知識を活かす人材登録制度(OB等人材バンク)の構築による産業人材の確保や活用、技術支援等の強化

●産業人材の確保

- ・ 県内就職関連事業の連携促進等、若者（高校生、大学生）の県内定着に向けた効果的展開
- ・ 企業ニーズや地域中核企業の成長に向けた産業人材確保制度の充実

やまぐちR&Dラボ等構築推進事業





## 進捗状況等について

### 【プロジェクトにおける主な取組】

- 「やまぐちR&Dラボ」の設置・運用
- 「やまぐちOB等人材バンク」の設置・運用
- 「高校生県内就職促進プロジェクト」の活用による県内就職の促進
- 高度産業人材確保事業(奨学金返還補助支援制度)の推進

<p>進捗状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「R&amp;Dラボ」及び「高度技術者OB等人材バンク」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者研究者の交流プラットフォーム「やまぐちR&amp;Dラボ」を設置</li> <li>・「やまぐちOB等人材バンク」の設置に向け、県内企業等へ協力依頼を実施</li> </ul> </li> <li>○「高校生県内就職促進プロジェクト」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトチーム会議の開催により高校生県内就職に向けた情報共有・連携を確認</li> </ul> </li> <li>○「高度産業人材確保事業(奨学金返還補助制度)」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度対象者決定16人(理系大学院生13人、薬学部生3人)</li> </ul> </li> </ul>
<p>指標(実績値)</p>	<p>研究開発・人材活用システムへの参加企業数:78社(令和元年7月末)  奨学金補助制度を活用した県内就業者数:10人(平成29年度及び平成30年度の累計)</p>
<p>今後の動向等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山口県東部技術交流会のほか、企業連携を目指したテーマ別ワークショップを開催予定</li> <li>○「やまぐちOB等人材バンク」ポータルサイトの開設</li> <li>○「高校生県内就職促進プロジェクト」の推進(県内企業就職セミナー事業の拡充などによる高校生県内就職促進の推進)</li> <li>○高度産業人材確保事業の推進(奨学金返還補助制度の令和元年度対象者決定)</li> </ul>
<p>令和元年度  関連予算(事業)  (産業戦略部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○やまぐちR&amp;Dラボ等構築推進事業 70,459千円【県事業・新規事業】  県内技術者・研究者の技術交流プラットフォーム及びOBバンク制度を創出し、オープンイノベーションの促進による県内企業の連携強化や技術力・研究開発力の向上、高度産業人材の育成等を図る。</li> <li>○高度産業人材確保事業(奨学金返還補助制度) 3,712千円【県事業・継続事業】  県内産業の振興に必要な高度専門知識を有する産業人材の確保を図るため、奨学金返還補助制度を実施し、併せて県内就職につなげるための取組を実施</li> </ul> <p>※他部局所管事業については、巻末「重点成長分野に関連する主な施策・事業展開」に掲載</p>



産業インフラ輸出促進プロジェクト  
〔水産分野の産業インフラの海外事業展開の促進等〕

プロジェクトの概要

【取組目標】

JICAなど国等の支援メニューを活用した事業件数：  
0件(2016年度)⇒5件(2020年度)

●ベトナム国キエンザン省政府との連携による、水産バリューチェーン構築に向けた取組の推進

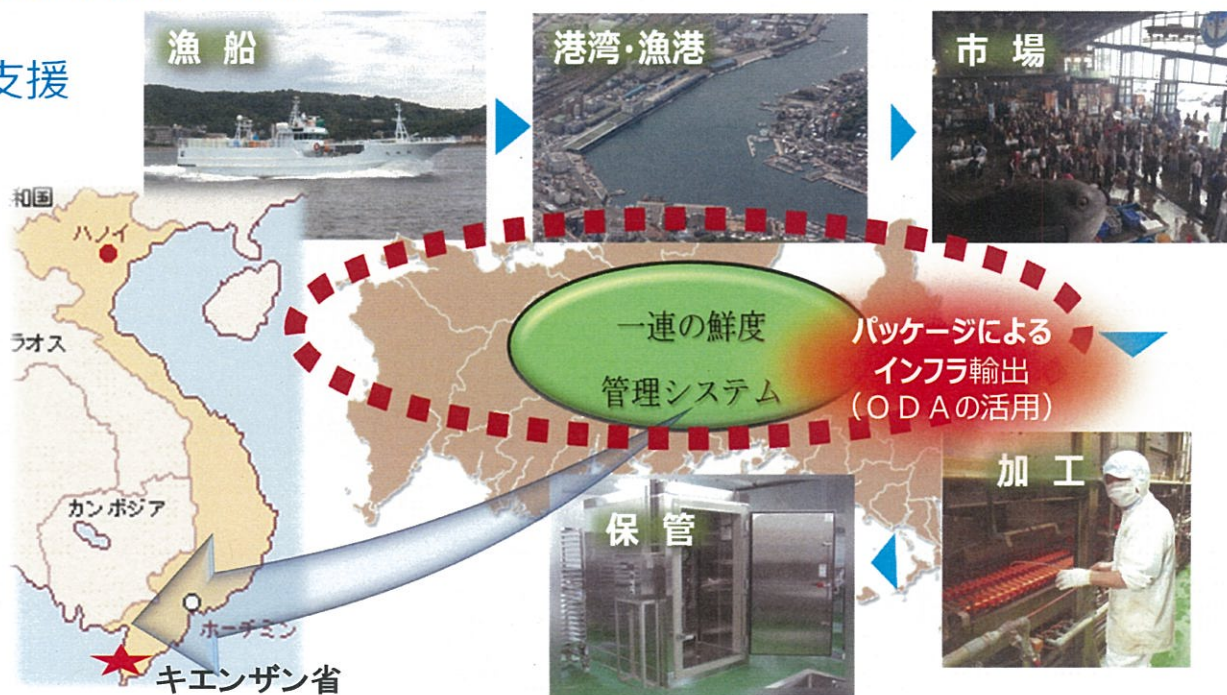
- ・ 専門家派遣、キエンザン省関係者の招聘等による理解促進
- ・ ベトナム政府、キエンザン省政府への継続的な働きかけの実施

●県内企業のキエンザン省での事業展開に向けた支援

- ・ 官民一体となった「水産インフラ輸出構想研究会」の開催
- ・ 国等支援事業（JICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業※」）の活用に向けた支援

●水産インフラ輸出構想の推進状況を踏まえた他分野での展開に向けた検討・助言等

●プロジェクトのイメージ



※「中小企業・SDGsビジネス支援事業」  
(独)国際協力機構(JICA)の支援事業。案件化調査(技術・製品等の活用可能性を検討し、ビジネスモデルの素案を策定)、普及・実証・ビジネス化事業(技術・製品・ビジネスモデルの検証や普及活動を通じ、事業計画案を策定)等の支援事業。SDGsは、「持続可能な開発目標」を意味する。



## 進捗状況等について

### 【プロジェクトにおける主な取組】

- 専門家派遣、キエンザン省関係者の招聘等による理解促進
- 「水産インフラ輸出構想研究会」の開催
- JICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業」の活用に向けた支援 等

<p>進捗状況</p>	<p>&lt;平成30年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究会開催 (FS調査結果報告、ODAを活用した中小企業海外展開支援 他) (5/16)</li> <li>○ 関係企業(専門家)とともにキエンザン省を訪問 (FS調査結果の報告、水産インフラ輸出構想の具現化に向けた今後の取組の方向性等について協議) (9/9~13)</li> <li>○ 関係企業3社でJVを形成し、(独)国際協力機構(JICA)2018年度第2回中小企業・SDGsビジネス支援事業申請(→採択)(10/15申請 ⇒ 1/21採択・公表)</li> </ul> <p style="text-align: center;">【参画(申請)企業:ユタカ冷蔵(株)(長門)、(株)ニシエフ(下関)、フジミツ(株)(長門)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究会開催 (キエンザン省訪問に係る概要報告、JICA事業活用に向けた進捗状況報告 他) (11/27)</li> <li>○ 研究会開催 (JICA事業(採択結果、今後の展開に向けた協議等)、次年度事業 他) (3/18)</li> </ul> <p>&lt;令和元年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 採択されたJICA事業(高度な製氷技術や魚艙のFRP化、品質評価技術を組み合わせた実証事業)スタートに向け、詳細な事業内容等についてキエンザン省側と調整中</li> <li>○ 研究会開催 (JICA事業(進捗状況、今後のスケジュール等)、招聘事業に係る意見交換 他) (7/29)</li> </ul>
<p>指標(実績値)</p>	<p>JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業活用件数 3件(令和元年7月末)</p>
<p>今後の動向等</p>	<p>&lt;令和元年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ JICA、県内3社によるJV、キエンザン省間での合意等を経て、現地での事業着手</li> <li>○ 高度な加工設備や冷凍・物流チェーンの提案など、次の展開についての検討</li> <li>○ 鮮度保持システムの重要性への理解を高めるため、国事業を活用し、キエンザン省政府関係者等を招聘(11月頃)</li> </ul>
<p>令和元年度 関連予算(事業) (産業戦略部)</p>	<p>○ 山口発! 水産インフラ輸出構想展開支援事業 8,276千円【県事業・継続事業】</p> <p>キエンザン省政府関係機関と企業の円滑な連携を図るための調整、及び現地での事業展開に向けた取組に対する助言・指導、キエンザン省政府等への継続的な働きかけ、公的支援獲得のための関係機関との調整</p>



## プロジェクトの概要

## 【取組目標】

先導的プロジェクトによるIoT等導入件数:5件(2020年度)

中小企業のIoT導入率:3.9%(2016年度)⇒16%(2020年度)

## ● I o T ビジネス創出支援拠点の形成 (県産業技術センター)

- ・ 山口県版 I o T ビジネス創出基盤の構築 (システム構築等)
- ・ I o T に関する幅広い技術を持つ専門家の配置
- ・ 複数の共同開発プロジェクトへの支援

● 重点成長分野を中心とした、生産性  
・ 付加価値向上やサービス創出に向けた  
先導的プロジェクト等への支援

- ・ 通信キャリアとの連携による、LPWA 技術を活用した I o T 等利活用実証フィールドの整備等

## ● 第4次産業革命の進展を見据えた人材育成

- ・ データサイエンティストを育成する企業や地元大学との連携等による高度 I o T 人材の育成

## ● 全県的な I o T 等導入の促進・波及

- ・ 「山口県 I o T 推進ラボ」を核とした、産学公金連携による県内中小企業の I o T 等の活用による、生産効率改善や技術力を活かしたイノベーション創出を支援

## ● プロジェクトのイメージ





## 進捗状況等について

### 【プロジェクトにおける主な取組】

- IoTビジネス創出支援拠点の形成
- 通信キャリアとの連携によるIoT利活用実証フィールドの整備や先導的プロジェクトへの支援 等

進捗状況	<p>○IoT等の革新的技術を活用した新商品・サービス等の研究開発補助金の創設(平成30年度)</p> <p>○「スマート★づくり研究会」の設立(平成30年度)</p> <p>○「やまぐちIoT導入サポーター」制度の創設(令和元年5月)</p> <p>○IoT等を活用し、ビジネスの効率化・省力化を目指す企業の取組を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上先進モデル創出補助金創設、専門コーディネータによる一貫した支援等</li> </ul> <p>○IoTビジネス創出支援拠点の整備(県産業技術センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT基盤の整備、専門家の配置、「スマート★づくり研究会」の開催</li> </ul>
指標(実績値)	<p>先導的プロジェクトによるIoT等導入件数: 0件(令和元年7月末)</p> <p>中小企業のIoT導入率: 10.1%(平成30年度)</p>
今後の動向等	<p>○IoT導入促進実践ワークショップの開催(令和元年10月～)</p>
令和元年度 関連予算(事業) (産業戦略部)	<p>○やまぐちコネクテッド・インダストリーズ推進事業 12,700千円 【県事業・新規事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまぐちコネクテッド・インダストリーズプラットフォームの構築</li> <li>(「やまぐちIoT導入サポーター」派遣、IoT導入実践ワークショップによる個別導入サポート)</li> </ul> <p>※他部局所管事業については、巻末「重点成長分野に関連する主な施策・事業展開」に掲載</p>



プロジェクトの概要

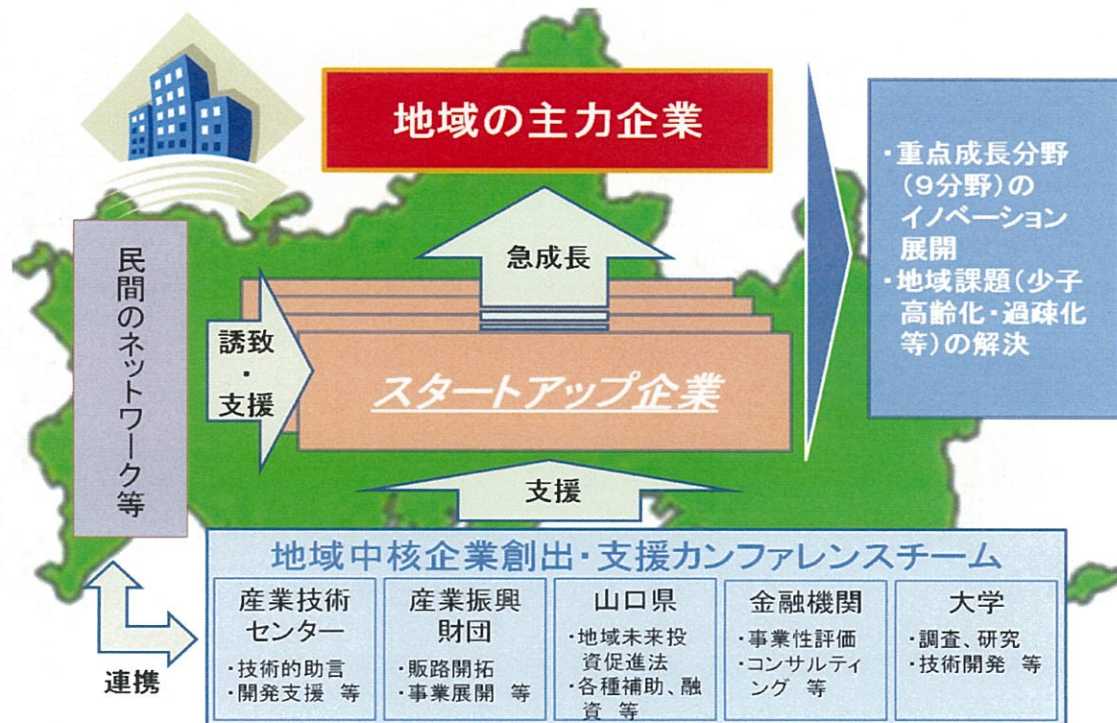
【取組目標】スタートアップ企業の誘致件数(累計)  
5社以上/3年(2018-2020年)

●地域の産学公金がスタートアップ企業と事業パートナーとして連携・支援し、本県の主力企業として育成を促進

- 重点成長分野（9分野）のイノベーション展開に資する研究開発等を行う「スタートアップ企業」の誘致（対象企業：少子高齢化・過疎化等の本県の地域課題解決、重点成長分野の発展につながる取組を展開する企業）
- 民間の資金提供やネットワークによる支援

●「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム」等によるスタートアップ企業への総合サポート

- 「地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム」等によるスタートアップ企業の技術力強化や販路拡大・域内調達の拡大、コンサルティングによる事業戦略の強化等に向けた集中的支援の実施





## 進捗状況等について

### 【プロジェクトにおける主な取組】

- 研究開発型のスタートアップ企業の誘致
- 地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム等によるサポート

<p>進捗状況</p>	<p>○YMFG ユニコーンプログラム本戦(第1回 2018年5月 12社、第2回2019年5月 10社 )</p> <p>○プログラム参加企業による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株)Stroly            [事業内容]            情報技術サービス及び製品の企画・開発、位置・空間技術に関するコンサルティング            [事業の特徴]            独自技術の開発により、オンラインで地域の魅力あふれるデザインマップを簡単にデジタル化し、ロケーションと連動。利用者の利用傾向や、行動データを用い、新しいマップメディアを構築            [採用実績]            山口県観光連盟「古地図スマホスタンプラリー」等</li> <li>・ (株)スカイディスク            [事業内容]            製造業に特化したIoT/AIソリューションの提供により、企業の生産性向上を図る            [採用実績]            国内自動車関連大手メーカー等</li> </ul>
<p>指標(実績値)</p>	<p>スタートアップ企業の誘致件数 0件(令和元年7月末時点)</p>
<p>今後の動向等</p>	<p>○地域金融機関等と連携した、研究開発型のスタートアップ企業の誘致促進、そうした企業への地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム等による総合サポートの実施</p>
<p>令和元年度 関連予算(事業) (産業戦略部)</p>	<p>※商工労働部所管事業 (主な事業については、巻末「重点成長分野に関連する主な施策・事業展開」に掲載)</p>



# 新山口駅北地区拠点施設整備支援プロジェクト 〔新山口駅周辺の拠点性向上による産業振興の推進〕

## プロジェクトの概要

### ● 交流人口創出に係る連携

- ・ 県内の観光・物産に関する情報発信
- ・ コンベンションの誘致、各種大会、イベント等の施設利用の促進

### ● 企業・人材支援機能に係る連携

- ・ 県関係の産業支援機関等の拠点施設への移転の検討・実現
- ・ 市施設（起業創業支援センターなど）と連携した起業創業・中小企業支援機能の強化（ワンストップ化）

### ● 新産業の創出促進に係る連携

- ・ 健康産業支援施設の「ライフイノベーションラボ」開設への支援
- ・ 市、大学等との連携による先端技術を活用したヘルスケア関連製品・サービスの開発に向けた実証事業展開

### ● アクセス道路の整備

- ・ 山口宇部道路からのアクセス道路となる「都市計画道路新山口駅長谷線」他の整備

### ● 関連施設の整備

- ・ 県央部多部制定時制高校の整備や拠点施設機能との連携

### 【取組目標】

新山口駅北地区拠点施設と連携した産業・交流拠点の形成 :  
実現(2018-2020年度)





## 進捗状況等について

### 【プロジェクトにおける主な取組】

- 観光案内の強化、拠点施設の利用促進
- 起業創業・中小企業支援機能の強化(ワンストップ化)
- ヘルスケア関連産業の創出に向けた実証事業の展開等
- 都市計画道路新山口駅長谷線他の道路整備
- 県央部多部制定時制高校の整備

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業推進に係る県・市全体調整会議の開催(平成30年10月29日)</li> <li>○ 県関係機関(やまぐち産業振興財団、山口しごとセンター、山口県福祉人材センター)入居決定・公表(平成30年11月19日)</li> <li>○ (株)島津製作所、山口大学、山口市と山口県による健康づくり等をテーマとした技術連携に関する基本合意書を締結(平成30年12月20日)</li> <li>○ 新山口駅長谷線他のアクセス道路の整備促進(施工中)</li> <li>○ 県央部多部制定時制高校校舎と拠点施設とのデザイン調和を図るための連携</li> <li>○ 拠点施設の産業・交流拠点の形成に向け、県・山口市・関係支援機関から構成するワーキンググループを設置し、産業支援・人材供給機能やヘルスケア関連産業の創出等の方策の検討を開始(8月～)</li> </ul>
指標(実績値)	新山口駅北地区拠点施設と連携した産業・交流拠点の形成 ( ※実施中)
今後の動向等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業推進に係る県・市全体調整会議の開催</li> <li>○ ワーキンググループを軸に、産業支援・人材供給機能の充実強化に向けた新たな取組やライフイノベーションラボを活用した健康づくりの推進・ヘルスケア関連産業の創出、拠点施設利用促進などの方策を検討</li> <li>○ 「ライフイノベーションラボ」を実証フィールドとした認知症予防に関する共同実証研究事業の具体化、コンソーシアムの推進体制等の検討、調整</li> <li>○ 今年度末の供用開始に向け、新山口駅長谷線他のアクセス道路の整備促進</li> <li>○ 県央部多部制定時制高校校舎の整備促進</li> </ul>
令和元年度 関連予算(事業) (産業戦略部)	<p>○ライフイノベーションラボ関連事業(認知症関連イノベーション創出事業)3,500千円【県事業・新規事業】</p> <p>※他部局所管事業については、巻末「重点成長分野に関連する主な施策・事業展開」に掲載</p>